



対馬丸記念館と、遺族・サポーターを結ぶ、ふれあいの情報誌

# 対馬丸 通信

発行：(財) 対馬丸記念会  
発行人：高良 政勝  
編集：対馬丸記念会事務局

Tsushima maru press

平成 20 年 3 月 25 日発行 第 15 号

特集

## いのち輝く、二つのステージ

3月5日(水)

しますえよしお シャンソンの夕べ

3月9日(日)

平和の舞台 ～海底の友へ～

今年3月に対馬丸記念館の平和活動を支援しようと相次いで二つの公演が行われました。しますえよしおシャンソンの夕べは、対馬丸記念館チャリティーコンサート実行委員会が組織され、昨年9月に活動を開始、収益金を対馬丸へという各委員の熱い想いで実現させたものです。また、平和の舞台～海底の友へ～は、対馬丸記念館を支援しようとピース・メッセンジャー・キムタカ（PMK）という若者集団が独自に企画し、対馬丸記念館での公演にこぎ着けたものです。両公演の熱いステージを写真と新聞報道で振り返ります。



表紙写真：しますえよしおシャンソンの夕べ

# 熱い演舞や、真心あふれる歌声に

## 大満足していただき嬉しかったです。

しますえよしお シャンソンの夕べ

しっとりとした、しますえよしおさんの歌声が会場いっぱいに響き渡ると、一瞬にして会場の観客を魅了、真心あふれる歌とトークで素敵なコンサートとなりました。



寄附目録の贈呈に対し謝辞を述べる高良館長



「首里城讃歌」玉城節子 玉城流翔節会会主



開場 30 分前から長蛇の列



「胡蝶の舞」玉城流翔節美智子乃会



「獅子」創作芸団レキオス



「創作エイサー」創作芸団レキオス



講演後実行委員へ慰労のあいさつを述べる新垣幸子副会長



「春の光」沖縄新歌舞団 大太陽



「舞の舞」前川美智子 玉城流翔節美智子乃会会主

当日は開場前から入場を待つ人々の列が出来る盛況ぶり、チャリティー公演という性格上、どれだけの人が会場に足を運んでくれるかという関係者の杞憂は一掃され、観客の関心の高さがうかがえました。

当日は、チャリティーの趣旨に賛同いただき、快く客演をして頂いた、玉城流翔節会 玉城節子 家元、同じく玉城流翔節美智子乃会 前川美智子 会主、沖縄新歌舞団 大太陽 創作芸団 レキオスの皆様による沖縄の芸能も披露されました。

対馬丸記念館の平和活動を支援するため、昨年九月に対馬丸記念館チャリティープロジェクトが始動、実行委員会会長に琉大名誉教授 尚弘子先生をお迎えし副会長には、京おんなの会会長 信ヶ原千恵子先生、同じく副会長に前県出納長の新垣幸子さんと最強の布陣で始動した本公演は、各実行委員の精力的な活動でチケット完売、パンフレットの広告販売も予定の倍と当初目標をクリアし、当日の公演を迎えることが出来ました。

対馬丸記念館の平和活動を支援するため、昨年九月に対馬丸記念館チャリティープロジェクトが始動、実行委員会会長に琉大名誉教授 尚弘子先生をお迎えし副会長には、京おんなの会会長 信ヶ原千恵子先生、同じく副会長に前県出納長の新垣幸子さんと最強の布陣で始動した本公演は、各実行委員の精力的な活動でチケット完売、パンフレットの広告販売も予定の倍と当初目標をクリアし、当日の公演を迎えることが出来ました。



チャリティーコンサートの趣旨をご理解いただくために、公演パンフレットよりごあいさつを転載致しました。



### ごあいさつ

実行委員会会長

尚 弘子

本日ここに、多勢の皆様のご協力をいただき対馬丸記念館チャリティーコンサートが開催されますことを嬉しく思います。

対馬丸の悲劇から六十四年が過ぎようとする今、無念にも尊い命を失った学童たちに代わり、私たちはその記憶を共有し、平和といのちの大切さを後世に伝えていく義務があります。対馬丸記念館は、明日を担う子どもたちに平和の大切さ、命の尊さを伝える大切な役割を担っています。

現在、対馬丸記念館は一部国の補助を受けながら、遺族を中心に一般の方々にも呼びかけ「対馬丸協力を会」を結成し、その会費と、入館料、寄付金等で運営されておりです。しかし、年々直接の遺族が少なくなると、記念館運営は厳しくなっています。

そのようなことから、対馬丸記念館の運営資金の造成を目的とした新たな取組として「シャンソン歌手」しますえよし

お」さんの協力をいただき本日のコンサートを実現する事が出来ました。この機会に多くの皆様に沖縄で楽しむ機会の少ない一流のシャンソンをお楽しみいただければ幸いです。

さらに今回は、県外から本コンサートの趣旨にご賛同いただいた「しますえよしお」ファンの皆様も多くが来場されており、感謝の意を込め地元有志による伝統芸能を披露させていただきます。

本日の開催までには多くの関係者より絶大なご協力を賜りました。

このように、沢山の人々のおもいが寄せられて開催されるコンサートを実行委員一同しっかり運営し、皆様の善意を明日を担う子どもたちが夢と希望と平和にあふれた世界に「こぎだせる」よう役立てます。

最後になりましたが、ご来場いただきましたお客さまをはじめご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

### ごあいさつ シャンソン歌手 しますえよしお

私にとって沖縄での公演は二回目になりました。今回も又多勢の方々に御奔走いただいた事と恐縮しております。

第一回目は、信ヶ原千恵子先生をはじめとする「京おんなの会」や実行委員の皆様のお力で、「対馬丸記念館」に収益金の一部を寄附させていただきます。

音楽は人間の愛を歌い、人々の平和を願うものと信じています。歌を通して温かな人と人との輪が少しでも広がり、平和で愛あふれる世の中が来る事を切に願いながら、心を込めて歌いたいと思います。

### ごあいさつ

京おんなの会会長 信ヶ原千恵子



本日は「対馬丸記念館チャリティーコンサート」です。

すえよしおシャンソンの「タペ」へお出かけ下さいましてありがとうございます。六年ほど前に沖縄コンベンション劇場で、第一回しますえよしお福祉チャリティーコンサートを開催しました。

地元沖縄の伝統芸能の皆様のご友情出演をいただき、その収益を対馬丸記念館に寄附させていただきました。それ以後ご縁が続き、今回は対馬丸記念館へのチャリティーコンサートになりました。

たわけです。未来に希望を持った子どもたちを一時に襲った戦争の悲劇、その苦しみも時がたつにつれて忘れ去ら

ます。

音楽は人間の愛を歌い、人々の平和を願うものと信じています。

歌を通して温かな人と人との輪が少しでも広がり、平和で愛あふれる世の中が来る事を切に願いながら、心を込めて歌いたいと思います。

私はいくように思います。対馬丸記念館は、命の尊さと平和学習の場として永遠に続いてほしいと思います。

私は京都だん王保育園の園長として、十五年ほど前から沖縄の保育園先生方とご縁があり、保育内容の向上の為にお手伝いさせていただきます。

乳幼児期の一番大切な時に「子どもを抱きしめ愛あふれる保育」を理念としてやってまいりましたが、現在の青少年問題や子ども虐待等、目を覆いたくなる問題が激増しています。そんな中でしますえさんの歌は、見失いかけていた人間としてのやさしさや思いやり、心にかたりかけてくれるものがあります。

どうぞしますえよしおさんのすばらしい歌をごゆっくりと聴いて下さいませ。

### 対馬丸記念館チャリティーコンサート 実行委員会

- 会長 尚 弘子
- 副会長 新垣 幸子
- 相談役 信ヶ原 千恵子
- 嘉数 昇明
- 伊藝 美智子
- 糸数 裕子
- 上原 妙
- 川上 幸子
- 金城 幸子
- 金城 美江子
- 具志堅 裕子
- 清水 スミ子
- 嶋田 玲子
- 新城 伸子
- 瑞慶覧 春代
- 高良 恒己
- 津波古 ヒサ
- 名城 郁子
- 名城 悦子
- 羽地 和枝
- 普天間 初子
- 外間 邦子
- 前川 美智子
- 前川 慶子
- 又吉 治子
- 又吉 光子
- 真栄城 光子
- 高良 政勝
- 石塚 由起子
- 池宮 一

- 事務局 局長 高良 政勝
- 会計 池宮 一

命と平和の大切さを発信するため、県立与勝高校卒業生を中心に結成された表現集団「ピースメッセンジャー肝高」(PMK)が、初めて手掛けた「『平和の舞台』対馬丸公演『海底の友へ』」が九日、那覇市若狭の対馬丸記念館で上演された。一九四四年八月に米潜水艦に撃沈された対馬丸の史実を題材に、脚本、演出、音楽すべてをメンバー十四人が手掛けた。おばあさんと孫の語りを軸に歌と演奏、踊りや群読で繰り広げられる約一時間の舞台に、観客は拍手を送った。

ピースメッセンジャー肝高



「対馬丸の史実を伝えたい」との思いを込め演じるPMKのメンバー。九日、那覇市若狭の対馬丸記念館

# 悲劇の史実 継ぐ若者

## 対馬丸題材に踊り、群読：

# 「命と平和」を発信

那覇市

当時四歳で、両親ときょうだい十一人が乗船し、姉と二人生き残った対馬丸記念会の高良政勝会長は「若い人がしっかりと悲劇を受け止め伝えていく姿に涙が止まらなかつた」と話し「遺族や生存者の高齢化で語り部が減り活動の危機を感じているが、若者の姿に心強さを感じた」と、各地での公演に期待した。

高校時代に、平和学習やフィールドワークを通して学んだことを「平和の舞台」として表現していたメンバーらが、卒業後も平和を発信する担い手になると、昨年六月にPMKを発足させた。メンバーは現代版組踊「肝高の阿麻和利」の舞台経験者で、演出家の平田大一さんが舞台を監修した。

与勝高三年の時に平和学習で訪れた対馬丸記念館の来館者が少ないと感じた藏當慎也さん(二九)が、対馬丸の史実や同記念館の存在を知らせたいと周囲に呼び掛け、対馬丸を題材に決めた。メンバーは記念館に何度も足を運び、証言映像や本などで遺族や生存者の思いを胸に刻みながら舞台を務めた。

物語は対馬丸でわが子をおぼあさんの公演で百七十人が来場して演じた。僕にとつて最後の舞台。東京で就職するが、命の大切さを胸に刻みたい」と語った。

### 平和の舞台 『海底の友へ』

脚本・演出・音楽／PMK

#### ストーリー

沖繩戦から63年の歳月が流れた沖繩。しかし、未だ止むことのない米軍機の爆音に苦しむ住民たち。63年前に戦争を体験したおばあが、孫の愛人に沖繩戦の真相を語りだす…。おばあは沖繩戦当時、疎開する対馬丸で子供を亡くしている。学校や教科書では教わらない真実がそこにはあった。

沖繩戦でどれだけの子供・お年寄り・民間人が犠牲になったのだろうか？

戦時中に犠牲になった事例の一つとして「対馬丸」の出来事を取り上げ、生命の大切さ、語り継ぐことの大切さ、そしてあの出来事を忘れてはいけないというメッセージが込められた舞台となっている。

当時箱口令によって閉ざされた歴史の真相に迫る…。

#### PMKプロフィール

うるま市勝連にある沖繩県立与勝高等学校の卒業生が中心となり結成したグループ。高校時代、平和学習やフィールドワークを通して学んだことを舞台を通してオリジナルの歌やダンス・詩の朗読などを創作し平和活動を続けてきた。高校を卒業後、大学での活動、地域活動、舞台活動などそれぞれの道に歩み成長し学んだことを集め、次なるステップとして高校時代に行ってきた平和の舞台で今薄れつつある戦争の悲惨さや実態などを忘れないよう自分たち自身が平和の大切さを訴える発信源となるべくPMKとして再び歩きはじめました。

#### ☆キャスト紹介☆

##### 【ストーリーテラー】

- ・おばあ役：比嘉雪乃(友情出演)
- ・憂人役：平敷勇也

##### 【群読】

- ・藏當 慎也
- ・具志堅翔伍
- ・徳城恵利加

##### 【ダンス】

- ・具志堅智美
- ・知念みなみ
- ・知念あやか

##### 【バンド】

- ・仲里朋大
- ・門口涼子
- ・新城京子
- ・田里 光
- ・新垣綾音
- ・徳城夏美

2008年3月10日月曜日  
琉球新報(夕刊)より転載

6頁の会務日誌(イベント欄)もあわせてお読み下さい。



視察

平成19年

□12月15日(土)

岸田文雄 内閣府沖縄担当大臣  
(沖縄及び北方対策) 視察来館。高良会長ご説明のもと、約30分のご視察をされました。



□11月27日(火)

厚生労働省社会・援護局 角田祐一 援護課長、援護企画課 国浩 企画法令係長 西海



□11月30日(金)

日本社会事業大学 宇野裕



平成20年

□1月18日(金)

内閣府 横内憲二 参事官補佐(右)  
矢作一也 事務官(左)



□2月4日(月)

内閣府沖縄振興局総務課 佐藤雄一朗 総務係長



□2月27日(水)

財務省主計局 藤田俊祐 厚生労働第三係長、同財務省主計局 瀬尾隆行 厚生労働第五係財務事務官、内閣府沖縄振興局総務課 横山幹生 課長補佐



□3月5日(水)

厚生労働省社会・援護局外事室 新津浩平 室長補佐、同小島堅二 外事第二係長、同社会・援護局援護企画課 岩井一郎 課長補佐



□3月2日(日)

衆議院議員橋本岳先生が来館され、今回は視察日程の都合で参拝できなかった小桜の塔へ献花下さりました。





# イベント

## 平成19年

### □12月15日(土)

平成19年12月15日から平成20年1月9日まで、対馬丸記念館第9回特別展「世界の平和児童画展」が世界児童画展沖縄実行委員会協力のもと、企画展示室で行われました。同展は、毎年、およそ国内45会



場、海外13カ国29会場以上で展示された日本・世界の子ども達から応募された「日常のふだん着の絵」が展示され、来館された方から多くの感動の感想が寄せられました。また同日、館内を視察された岸田大臣にもご覧になりました。



この日は、オープニングに合わせ、ホテル ザ・ナハテラス所蔵の対馬丸船体模型が同ホテル総務人本部 饒波正博統括マネージャーから記念館へ贈呈されました。



寄贈に対し感謝の言葉を述べる高良会長と、模型の経緯を話した上原妙前会長

寄贈について語る、饒波氏(右)と同行の三枝万文氏

## 平成20年

### □2月28日(木)

対馬丸記念館第8回チャージャーがんじゅー講座「体のしくみから健康を考える」が実施されました。



ついでのお話を、先生独特の軽快なユーモアで展開され、内容の濃い講演となりました。

### □3月5日(水)

対馬丸記念館チャリティーコンサート「しますえよしおシャンソンの夕べ」。浦添市でだこホール。出演/しますえよしお、玉城節子、前川美智子、沖縄新歌舞団「太陽」(うふていーだ)、創作芸団「REQUIOS」(レキオス)

### □3月9日(日)

『平和の舞台』対馬丸公演〜海底の友へ。対馬丸記念館1階企画展示室。脚本・演出・音楽・出演/ピース・メッセンジャー肝高(PMK)監修・平田大一

講師を、第7回のチャージャーがんじゅー講座に引き続き、博愛病院院長の金城博先生にお願いいたしました。脳や腎臓などの体の基礎機能の役割や、食生活の見直しに



## ご寄附

### □12月5日〜3月25日

外間邦子、山田英生、謝花寛徹、森脇房代、太田依子、金城博、佐藤太圭子、中山勲、古堅整、大森節子、瑞慶山敏子

以上の方々からご寄附をいただきました。心よりお礼申し上げます。